


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章	 都立荒川商業高等学校 全日制課程			進路	実績	7%	短期大	1%	専門学校	28%	就職	53%	その他	11%						
	未来へチャレンジ!			就職指導の充実・3年間を通してのキャリア教育																
基本情報	所在地	〒120-8528 足立区小台二丁目1番31号		電話番号	03-3912-9251															
	アクセス	(1) 都電荒川線「小台」駅 徒歩7分 (2) 都バス 田端駅前より「荒川土手」行き 「小台橋」バス停 目の前 (3) 日暮里・舎人ライナー「足立小台」駅 徒歩8分																		
本学情報	学科	総合ビジネス科																		
	在籍生徒数	590人(男子197人・女子393人)																		
報	特徴	習熟度別授業(数学・英語) 少人数授業(国語・家庭・体育)																		
	ホームページ	http://www.arakawashogyo-h.metro.tokyo.jp/		自律経営推進予算	31年度(単位:万円)															
その他	平成18年～20年度文部科学省指定「目指せスペシャリスト・スーパー専門高校」	校服	制服	男子・ブレザー(紺) 女子・ブレザー(紺)																
基	本	入	学	者	選	抜	情	報	募集人員	推薦63人 一般147人										
									29年度入学生	推薦	男女	2.13	30年度入学生	推薦	男女	1.63	31年度入学生	推薦	男女	1.43
報	の	特	徴	そ	の	特	徴	そ	の	特	徴	そ	の	特	徴	閉課程に伴う募集停止に向けて、平成31年度入試において、文化・スポーツ等特別推薦を廃止				
																その他	閉課程に伴う募集停止に向けて、平成31年度入試において、文化・スポーツ等特別推薦を廃止			
目	指	す	学	校	地域に根ざした教育活動の実践を達成するため、全校生徒を社員とするレガロ工房、部活動、教科「人間と社会」の時間を中心とした計画的・組織的な取組を通して、地域貢献を柱とした学校改善に努め、「地域に貢献し、地域から愛される学校」作りを目指す。															
					本年度の重点目標															
目	標	①	①生徒の規範意識向上、日常マナー向上、改善を目指す。 ・好ましい人間関係を育てる指導、社会規範を厳守させる指導、自主性を育む指導等について研究・改善を進める。 ・挨拶の励行、身だしなみ、言葉づかい、時間厳守などの基本的な生活習慣を身に付けさせる指導を強化する。 ・生徒保護者との情報の共有を密にし、連携を深める。				本年度の取組と自己評価 ○ 毎朝の登校時の身だしなみと遅刻指導、ホームルーム等での定期的身だしなみ指導に取り組んだ。その結果、服装等の違反者が減り、授業規律が保たれるようになった。また、学校運営協議会学校評価アンケートにより学校は生徒の基本的な生活習慣の向上に努めている」と評価されていることがわかった。 ○ 地域商店会のPRフラッグ制作、商店のポスターやホームページ制作、名刺制作、商店街の福引イベント参加等、目覚しい活動をおこなった。また、足立区明るい選挙ポスターコンクールにおいて、銅賞・佳作を受賞した。													
			目	標	②	②生徒の勤労意識、職業意識の向上を図る。 ・生徒の希望進路の実現に向け、進路指導部と学年担任を中心に、全教員が組織的な進路指導に取り組む。 ・3年間を見据えた指導方針や全体計画を実践し、検証を行う。 ・3年間を見据えたキャリア教育を実践し、基礎・基本の習得、資格取得、教科の指導内容を再検討する。				○ 8月に全国生徒商業研究発表大会東京都予選において研究発表をおこなった。『冊子【あらかる】出版までの道のり～高校生が面白い大人に出会ったらどんな変化が生まれるか～』というタイトルで発表したところ、最優秀賞を受賞した。この結果、東京都代表として、11月に埼玉県で開催された全国大会に出場することができた。 ○ 10月に新潟県で開催された文部科学省主催「全国産業教育フェア」において展示部門へ参加し、高い評価を受けた。また、令和2年2月に本校で開催した学習成果発表会では、全校生徒および教職員の前で発表し1年間を通して学習成果を共有する絶好の機会となった。										
目	標	③				③生徒の検定資格取得の意欲を高め、合格率の向上を目指す。 ・1、2年生は基礎・基本学習の徹底を図るとともに、生徒の状況を把握し、共有する。総合ビジネス科の教育活動全般について、成果と課題を総括し、指導内容を改善する。 ・学力向上研究校(校内寺子屋)事業の取組を通して、基礎・基本の定着と学ぶ意欲の向上を図る。				○ 放課後に外部指導員による指導をおこない、基礎学力の定着を図った。年間30回実施した。1年生延べ81名が参加した。66.7%の生徒が「校内寺子屋に参加して、分からない問題が分かるようになった」とアンケートに回答した。○ 11月に東京都商業教育研究会主催「English Business Plan Contest 2019」が開催され、3年生が出場した。おもてなしをテーマにしたシェアリング・ビジネス・プランを考え、高評価を獲得することができた。2月の学習成果発表会でも全校生徒の前で発表をした。○ 夏季休業期間中に読書月間を設けるとともに読書課題を与え、読書活動を推進した。令和元年度の本校の読書不読率は45.3%(前回49.2%、前々回50.8%)である。										
			数	値	目	標	今年度の数値目標の内容				28年度	29年度	30年度	今年度		32年度	33年度	34年度		
目標①	中途退学率(%)	目標					実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標				
数	値	目	標	目標②	進路実現率(%)	5	2	4	3	4	2	4	8							
				目標③	各種検定試験1年生 3級合格率(%)	100	91	100	98	100	91	100	99							
						80	72	95	80	90	73	80	44							